人感センサ取扱説明書

OPN3 保存用

人感センサー(調光タイプ)

YA4-001

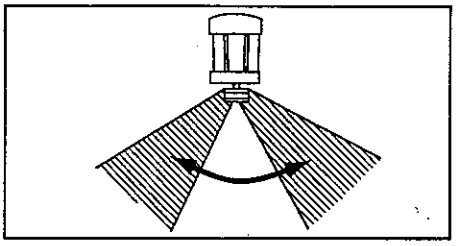
お客様へ
- ●ご使用の前に説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ●照明器具の取付工事は必ず工事店・電器店(有資格者)に依頼してください。

工事店様へ
- ●施工の前にこの説明書をよく読み、お客様と打合せのうえ、お客様のご使用に合わせたセンサーの設定にしてください。
- ●この説明書は必ずお客様にお渡しください。

人感センサー付照明器具の特徴

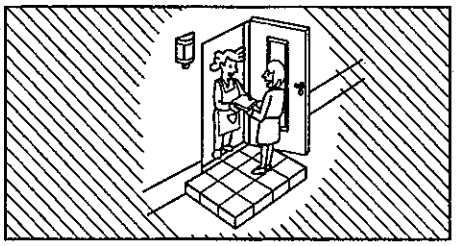
センサー機能

センサーが人を検知すると、ランプが100%点灯します。
人がいなくなると約60秒経過後、消灯します。(点灯保持時間)
センサー部が可動できるので、照明器具の設置場所やアプローチの状況に合わせて最適な検知範囲を設定できます。
隣家や前面道路などを検知範囲からはずしたい時に便利です。



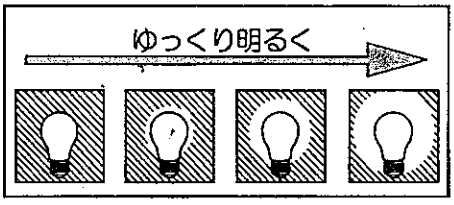
強制ON(連続点灯)

連続して点灯させたい時は壁スイッチをオフにして3秒以内にオンにすると、強制的にランプを100%点灯できます。
解除するときは一旦壁スイッチをオフにし、5秒以上経過後、再びオンにするとセンサー動作に戻ります。



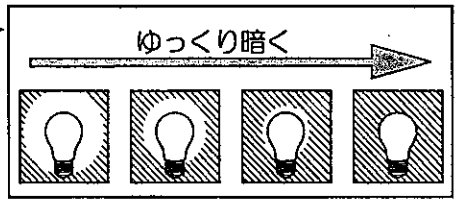
ソフトスタート

センサーが人を検知すると、ランプはゆっくり明るくなり、約4秒で100%点灯します。
目が光に馴れるに合わせて徐々に明るくなるので、夜中でもまぶしさに目がくらむことはありません。



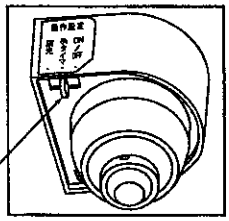
フェードアウト

約60秒経過後、人の動きがないときランプは突然消えません。
約5秒かけてゆっくり暗くなり、消灯間近なことを知らせてくれます。
(少し動けばまた点灯します。)心配りがうれしい機能です。

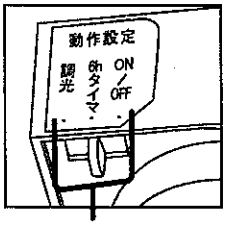


センサー各部の名称

〈左側〉



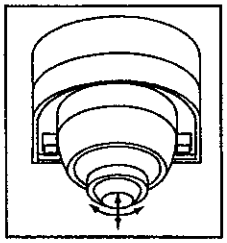
動作設定ツマミ



・出荷時は「ON/OFF」に設定してあります。

動作設定ツマミを動かすことで「調光」「6hタイマー」「ON/OFF」の3つのセンサーモードが設定できます。

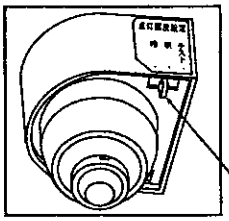
〈正面〉



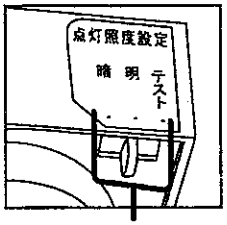
検知部

全方向に約20°ずつ稼動しますので検知範囲の調整ができます。

〈右側〉



点灯照度設定ツマミ



・出荷時は「暗」に設定してあります。

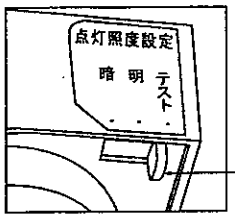
点灯照度設定ツマミを動かすことでセンサーが動作する明るさの設定と検知エリア確認(テストモード)ができます。

この説明書は必ずお客様にお渡しください

初めて使う時・・・テストモード

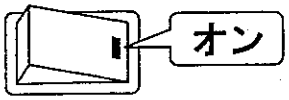
1．センサー右側の点灯照度設定のツマミを「テスト」に合わせる。

〈右側〉



テストモードは、昼間・夜間に関係なくセンサーの検知範囲に人が入ればランプが約5秒間100%で点灯し、その後消灯します。

2．壁スイッチを「オン」にする。

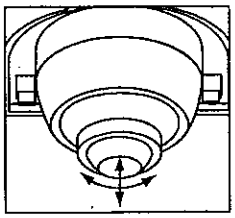


注）壁スイッチを「オン」にした直後は、ランプが約30秒間100%で点灯しますが、異常ではありません。

強制点灯（約30秒）後、約30秒間動作確認モードになります。
周囲の明るさに関係なく、人体を検知すると約5秒間ランプが点灯します。その後、テストモードになります。

3．センサーの検知部を動かし、検知範囲を決める。

〈正面〉

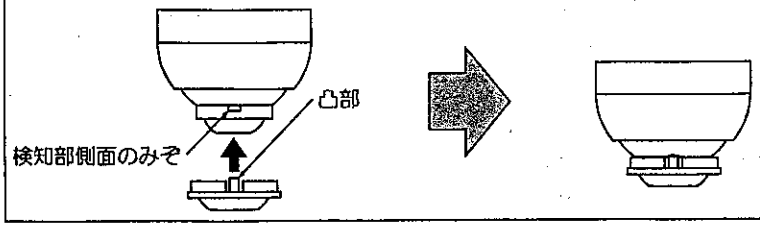


全方向に約20°ずつ可動

注）検知範囲の近くに人や車が通る道などあると、センサーが検知し、ランプが点灯する場合があります。
この時はセンサーの検知部に「エリアマスク」を取り付けて、検知範囲を調整してください。

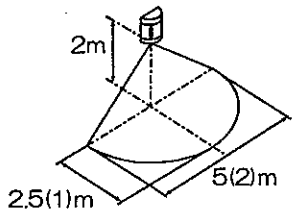
〈エリアマスクの取付方法〉

下図のようにエリアマスクの凸部を検知部側面のみぞにはめてください。

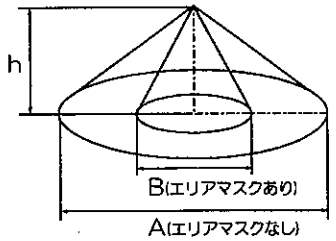


〈センサーの検知範囲〉　（ ）：エリアマスクを取付けた時

可動角度0°（真下）の場合：高さ2m



ダウンライトタイプ（真下）の場合

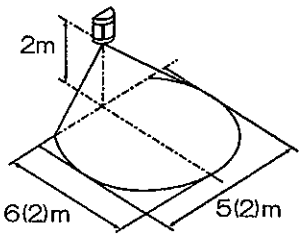


A：エリアマスクなし
B：エリアマスクあり

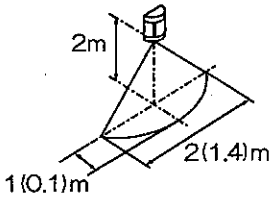
単位(m)

h	A	B
2	5	2
2.5	6	2.5
3	7	3

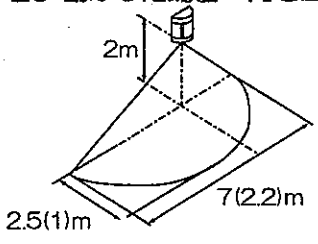
前方へ20°動かした場合：高さ2m



手前へ20°動かした場合：高さ2m

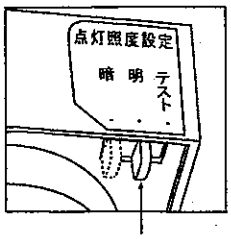


横へ20°動かした場合：高さ2m



4．センサーが動作する明るさを決める。

〈右側〉



センサーの右側の点灯照度設定ツマミを「暗」又は「明」に合わせる。

夜暗くなりかけてから点灯させたい。
また、明け方早くに消灯させたい（約15ルクス以下）
→「**暗**」に合わせてください。

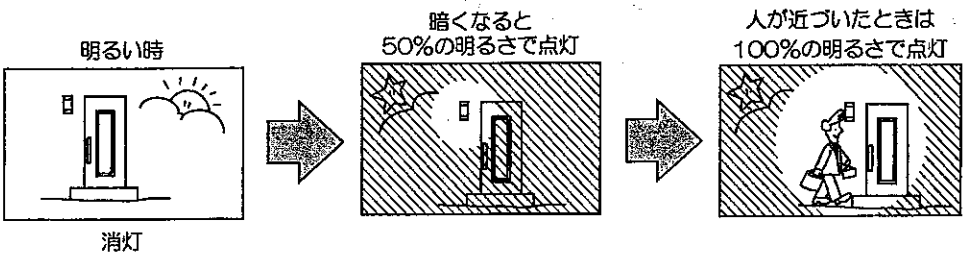
夕方のやや明るい時から点灯させたい。
また、明け方に消灯させたい（約45ルクス以下）
→「**明**」に合わせてください。

こんな使い方ができます

YA4-001

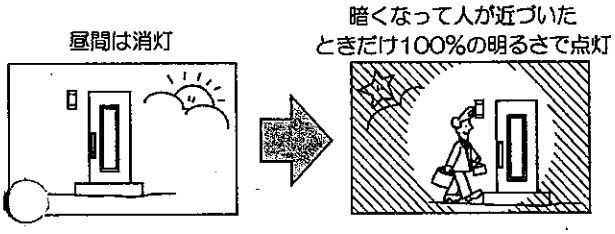
センサー左側の「動作設定」のツマミを動かすことで「調光モード」、「6hタイマーモード」、「ON/OFFモード」で使うことができます。又、壁スイッチの操作で「強制ONモード」もできます。
この人感センサー付き照明器具は。「強制ONモード」を除き、**壁スイッチをONの状態でご使用ください。**

玄関先はほのかな明かり＋人が来たときは明るくしたい → 調光モードの設定へ

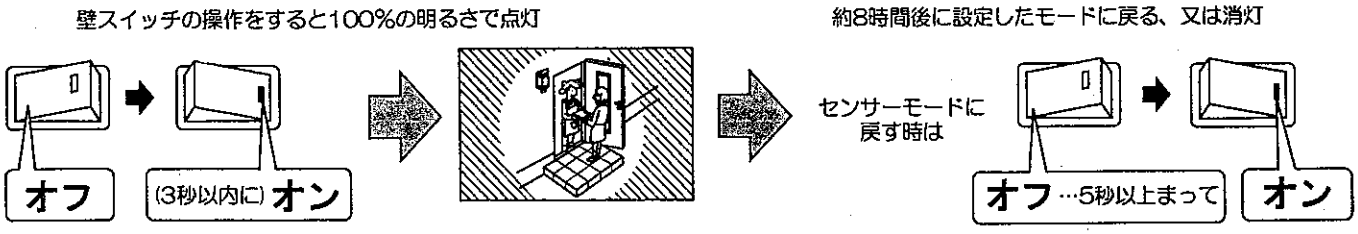


玄関先はほのかな明かり＋人が来たときは明るく＋夜中は省エネ → 6hタイマーモードの設定へ

人が来たときだけ明るくしたい → ON/OFFモードの設定へ



好きな時に照明を点灯させたい → 強制ONモードの設定へ

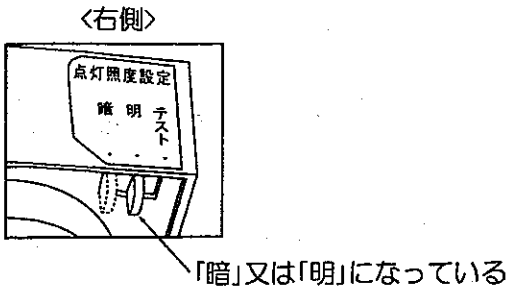


動作設定方法

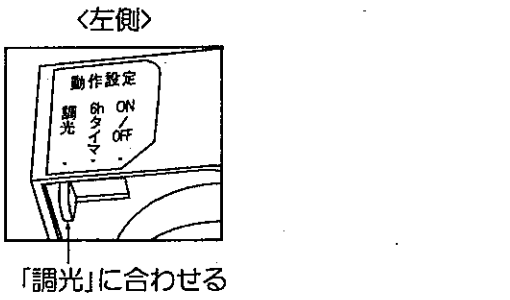
調光モードの設定

1．センサー右側の「点灯照度設定」のツマミが「暗」又は「明」になっていることを確認する。

注）「暗」、「明」の設定は、前ページの「初めて使う時」をお読みください。



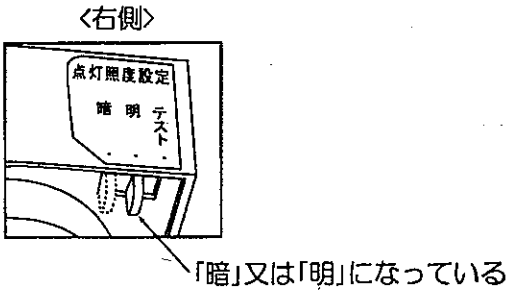
2．センサー左側の「動作設定」のツマミを「調光」に合わせる。



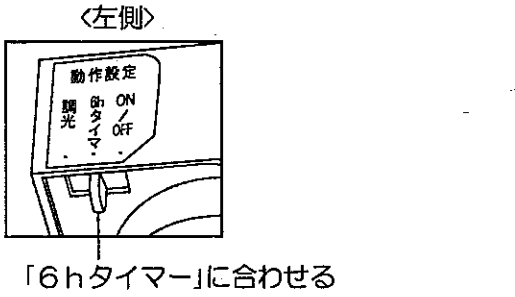
6hタイマーモードの設定

1．センサー右側の「点灯照度設定」のツマミが「暗」又は「明」になっていることを確認する。

注）「暗」、「明」の設定は、前ページの「初めて使う時」をお読みください。



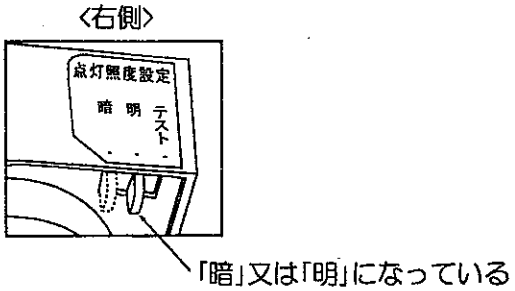
2．センサー左側の「動作設定」のツマミを「６ｈタイマー」に合わせる。



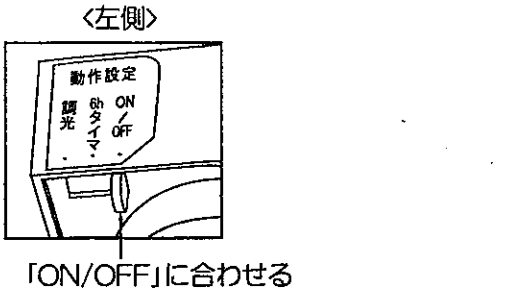
ON/OFFモードの設定

1．センサー右側の「点灯照度設定」のツマミが「暗」又は「明」になっていることを確認する。

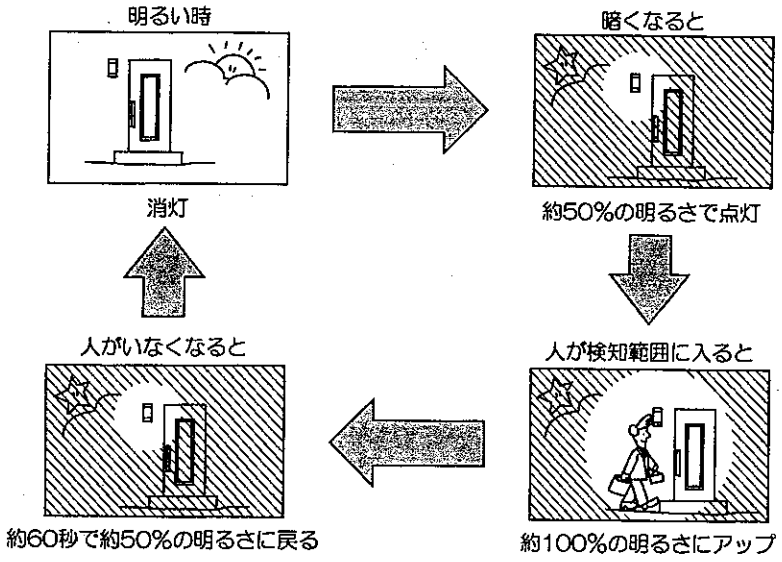
注）「暗」、「明」の設定は、前ページの「初めて使う時」をお読みください。



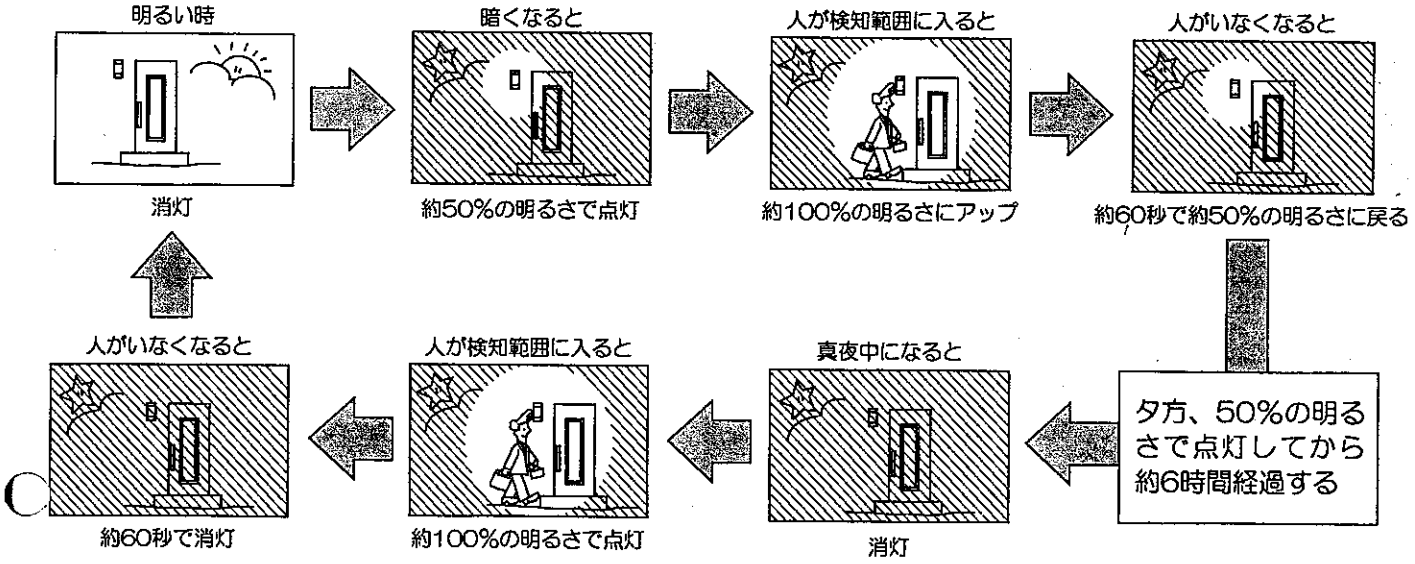
2．センサー左側の「動作設定」のツマミを「ＯＮ/ＯＦＦ」に合わせる。



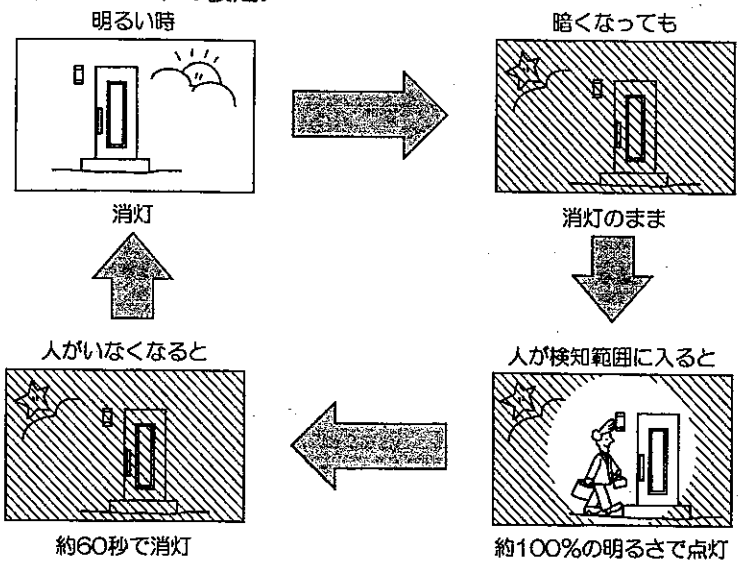
<調光モードの動作>



<6hタイマーモードの設定>

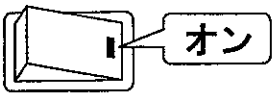


<ON/OFFモードの設定>



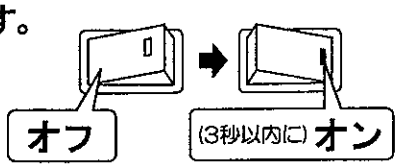
強制ONモードの操作

1．壁スイッチが「オン」になっている。



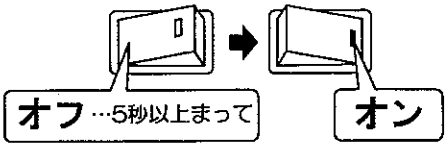
注) 壁スイッチが「オフ」の時は、「オン」にしてください。この時、約30秒間100%点灯します。(故障ではありません。)

2．壁スイッチを「オフ」にして、約3秒以内に「オン」に戻す。



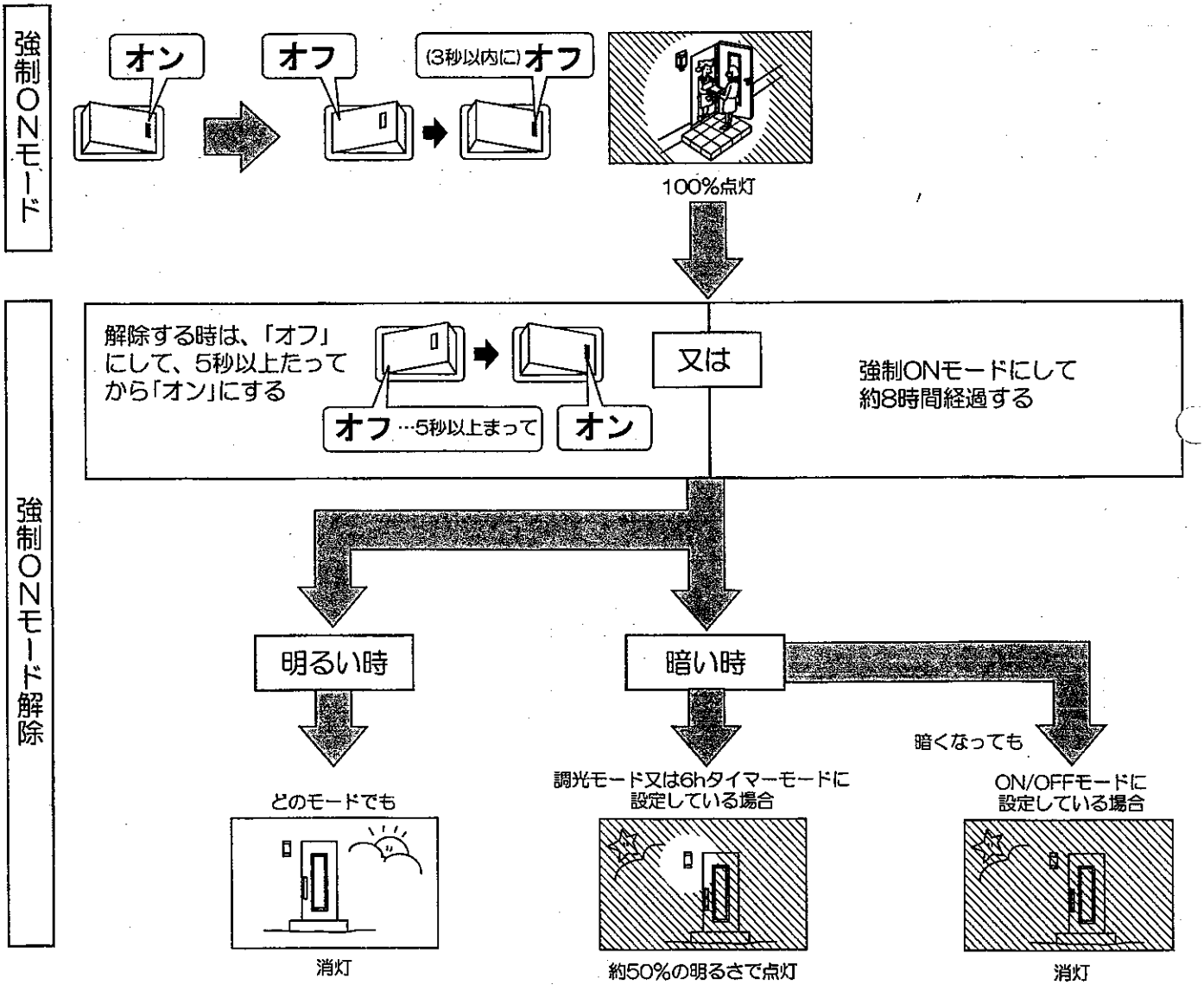
注) 強制ONモードは、人の有無、昼間・夜間に関係なく、ランプは約8時間100%点灯します。
その後は設定したセンサー動作モードに戻ります。

3．センサーモードに戻すときは、壁スイッチを「オフ」にして5秒以上たってから「オン」にする。



注) 壁スイッチの「オフ」時間が5秒より短い場合は、強制ONモードが継続(100%点灯が8時間)されますので、必ず5秒以上「オフ」にしてから「オン」に戻してください。

＜強制ONモードの動作＞



注) 壁スイッチを「オン」にした直後は約30秒間100%点灯します。(故障ではありません。)

修理を依頼される前に

YA4-001

●センサーの動作がおかしい時は下記を参考に点検を行ってください。
●もし、正常に戻らない時は、壁スイッチを「オフ」にして5秒以上たってから、「オン」にしてください。
●処置をした後でも異常があるときは必ず電源を「オフ」にし、お買い上げの販売店、工事店、または証明器具の取扱説明書に記載の当社相談窓口までご連絡ください。

現　象		考えられる原因	処置方法
ランプが点灯したままで消灯しない		壁スイッチを「オフ」にして約3秒以内に「オン」にした。(「強制ONモード」)	「強制ONモード」になっています。壁スイッチを「オフ」にして5秒以上たってから「オン」にしてください。
	明け方	センサー右側の「点灯照度設定」のツマミが「**明**」になっている。	朝、明るくなる頃までセンサーが動作する設定になっています。「点灯照度設定」のツマミを「**暗**」にしてください。(→初めて使う時をご参照ください。)
	明るいとき	照明器具の取付場所が薄暗い。(昼間でも暗い時がある)	「6hタイマーモード」でご使用の時は、昼間でも周囲が薄暗い時や曇り、雨などで周囲が暗くなった時は、まれにセンサーが夜と勘違いしてランプを50%点灯(約6時間継続)させることがあります。壁スイッチを「オフ」にして5秒以上たってから「オン」にしてください。
		昼間でも、曇り、雨などで周囲が暗くなった。	
		センサーの検知部を傘、手などで覆ってしまった。	
検知範囲に人がいるのに点灯しない	夕方	センサー右側の「点灯照度設定」のツマミが「**暗**」になっている。	暗くなりかけてからセンサーが動作する設定になっています。「点灯照度設定」のツマミを「**明**」にしてください。(→初めて使う時をご参照ください。)
	暗いとき	ランプが切れている。	新しいランプに交換する。(→適合ランプは照明器具の取扱説明書又は、照明器具に貼付のランプシールをご参照ください。)
		ランプが緩んでいる。	ランプを締め直す。(→照明器具の取扱説明書をご参照ください。)
		壁スイッチがオフになっている。	壁スイッチをオンにする。
		センサーの検知部に他の照明器具の光が当たっている。	1.センサーの検知部に当たる光を遮断してください。 2.検知範囲内の照明器具を取り除いてください。
		センサーの検知部が汚れている。	センサーの検知部の汚れを柔らかい布で拭き取ってください。

現　象		考えられる原因	処置方法
検知範囲に人がいないのに点灯する		電源を「オン」にした直後。 又は、停電から復帰直後。	電源を「オン」にした時は、 約30秒間100%点灯します。
	暗いとき	検知範囲内に人以外の熱源がある。 例: 自動車の熱やヘッドライト 近くの道路の通行人 犬や猫などの動物 風などでよく揺れるもの (洗濯物、旗、植木など) 他の照明器具 エアコンなどの吹出口からの風 強いノイズ(無線ノイズなど)	1.検知範囲を調整する (→初めて使う時をご参照ください。) 2.熱源を取り除く。 検知範囲内に左記の例のようなものがあれば、周囲の温度変化を検知し、センサーが動作することがあります。
検知範囲に人がいるのに消灯する		センサー右側の「点灯照度設定」のツマミが**「テスト」**になっている。 (約5秒間100%点灯し、その後消灯する。)	「点灯照度」のツマミを**「明」**又は、**「暗」**にしてください。 (→初めて使う時をご参照ください。)
	暗いとき	検知範囲内で人が静止している。	静止している人は検知できません。
検知範囲が狭い	**暗いとき**	雨の日に傘などで顔や手が隠れている。	センサーは温度変化を検知するため、左記の場合は検知しにくくなることがあります。
		マフラーで顔を覆ったり手袋をしていて肌の露出部分が少ない。	
		夏の暑い日などで周囲温度と人との温度差が少ない。	
		器具(センサー)に向かって正面から近づいている。	センサーの特性上、正面から近づくと検知しにくい時があります。 センサーの検知部を少しだけ左、又は右に回転させてください。

この説明書は必ずお客様にお渡しください